

# 平成 30 年度 特別養護老人ホーム鑑石園 事業報告書

## 1. 事業運営の概況

平成 30 年度事業計画に基づき、介護力向上に向けた取組みを実施した他、施設利用者様の処遇改善を積極的に行った。また、稼働率向上への取組みを重点項目として、稼働率 98%の数値目標を掲げ取組み、企画調整会議、各フロアミーティング等で毎月の稼働率を発表し、職員の意識改革と周知を図った。

平成 30 年度の稼働率は 98.5%、前年度比 2.1%のプラスとなった。

各種委員会においては、各々の担当分野からの視点で、業務改善に向けた方策を検討、試行する等、より良い介護サービスを提供する為の取組みを行った。

オムツの使用量を削減するために、使用パッドやトイレの誘導時間の検討を行い、無駄を減らすように取り組んだ。また、オムツの使い方について研修を行った。

非常災害対策として、初期消火・通報連絡・避難誘導の防災訓練の実施、防災設備や自家発電機の使い方の職員への周知を行った。また事業継続計画の見直し、防災備蓄用品の見直し等も行った。

## 2. 事業計画実施状況

### (1)介護力向上に向けた取組み

① 転倒事故 0 を目指して取り組んだ。ヒヤリハットを活用して事故防止に努め、事故の分析と対応策を周知した。例年 20 件ある転倒事故が平成 30 年度は 12 件になった。

② 日常的にうめぼし体操や口腔体操を行い、利用者様の残存機能の維持に努めると共に、天気の良い日は屋上を解放し、日光浴や散歩を行った。

利用者様との会話の中から訴えやニーズを引き出せた場合、速やかに検討、対応を行った。

利用者様の身だしなみを清潔に保つことが出来た。

③ 各居室の担当者が衣類の管理、衣替え、ダンス内の整理整頓を行った。リハビリ室、談話室、汚物処理室の整理整頓を定期的に行った。

壊れて動かないベッドのキャスターの修理や、利用者様のモーニングタオル・食事用エプロンの買い替えを行った。

介護力向上のため、内部研修を実施した。外部研修にも積極的に参加した。

## (2) 処遇改善への取組み

- ① 利用者様に対する言葉づかいやマナー向上の為、1週間単位で目標を設定し職員一人ひとりが自己評価を行った。スピーチロックを廃止する為に利用者様を個別に検討し対応した。職員同士が注意しあえる環境作りに努めた。
- ② 入所時、ご家族に対して身体拘束のリスクについて十分な説明を行った。
- ③ 内部研修にて高齢者虐待防止及び身体拘束防止に対する意識を徹底させた。職員全員で利用者様の安全や健康に留意した。
- ④ 介護と看護で連携して、利用者様の健康状態の把握と体調の変化に速やかに対応した。体調悪化を防ぎ長期入院者を出さなかった。

## (3) 稼働率向上への取組み

- ① 稼働率 98%を目標とし、これを達成した。
- ② 受け入れ可能な入居対象者(糖尿病・胃瘻等)は増えていないので、検討する必要がある。
- ③ 積極的な医療行為を希望されないご家族には、こまめに連絡を取りご家族の同意のもと施設で看取りを行った。
- ④ 空床が発生した場合には1週間以内に次の候補者に入所して頂くよう努めたが、速やかに入所出来ない事があった。

## (4) 委員会活動

### ① 安全対策委員会(毎月1回)

平成30年度における事故報告事例は123件で、その内受診を要した事故等により富士市に報告した事例は5件であった。事故報告書は介護職員全員が閲覧し、再発防止に努めた。同様の事故が発生した際には、再度対応策を検討し、各フロアミーティングで周知した。ヒヤリハット事例について委員会内で分析を行い、対策を検討、周知した。

### ② 身体拘束廃止委員会(毎月1回)

身体拘束・スピーチロック廃止についての検討内容を基に、全職員に対し身体拘束廃止の為に内部研修を開催した。また利用者様に対する言葉づかいやマナー向上の為に、1週間単位の目標を設定して職員一人ひとりが自己評価を行い、意識づけを行った。

③ 褥瘡予防委員会(隔月 1 回)

利用者様の身体状況に合わせて、体位変換クッションや褥瘡予防マットレスを活用し、臥床時の体位や車椅子乗車時の座位を安定させ、新たな褥瘡の発生を防いだ。また車椅子乗車時に使用するマットを購入し、褥瘡予防に役立てた。

④ 感染症対策委員会(隔月 1 回)

インフルエンザ発生時期に合わせて内部研修を行い、施設内の消毒と職員・面会者のマスク着用・手指消毒を徹底すると共に、職員には出勤前の健康チェックを義務付け、ウィルスの侵入防止に努めた。結果、今年度は利用者様のインフルエンザの感染者数を0に抑えることが出来た。

周辺施設で発生している感染症の情報を告知した。

⑤ 防災委員会(毎月1回)

各種災害を想定した搬送訓練・救護訓練を実施し、誰もが緊急時の対応ができるよう技術の向上を図った。また、自家発電機や防災設備の使い方の方の周知も行った。

⑥ 喀痰吸引等安全対策委員会(3ヶ月 1 回)

介護職員による口腔内の喀痰吸引等について、安全に実施できるよう、看護師が講師となって内部研修を行った。

⑦ 衛生管理委員会(毎月1回)

職員の健康診断の結果を基に多かった症状をテーマに勉強会を行った。他、ストレスチェックを実施し自らの体調管理についての意識向上を図った。

(5) コスト削減への取組み

① オムツの使用量を削減するために、利用者様の使用するオムツとパッドを個別に見直し、正しく使用することで無駄を減らした。パッドはコスト計算をして、安価なものを取り入れた。また、トイレ誘導時間の検討を行い、適宜排泄表を更新した。

② 光熱費を削減するために、常に節電・節水を心掛け、経費削減を図った。エアコンの基本設定温度を設け、電気使用量消費を抑えた。利用者様の要望を伺い、エアコンの調整や衣類・寝具等を整えて対応するよう努めた。

## (6)実施事項

### ① 年間行事

平成 30 年度に行った主な行事は次の通り。

4 月	花見会
5 月	新茶の会、デザートバイキング
7 月	七夕、納涼祭
8 月	素麺食べ放題
9 月	敬老会
10 月	福祉展見学、福祉祭り参加
11 月	寿司食べ放題
12 月	クリスマス会
1 月	お屠蘇配り、書初め
2 月	節分、寿司食べ放題
3 月	ひな祭り

### ② ケアカンファレンス

各利用者様の介護保険認定更新時期に合わせ、毎週水曜日に介護支援専門員・看護師・管理栄養士・介護職員が出席してカンファレンスを行い、ケアプランを作成した。内容については、身体状況に応じて重点項目を見直し、継続的な支援が実施できるよう心掛けた。

### ③ 健康管理

- ア. 嘱託医回診 …… 毎週 1 回(水曜日)／富士岡秋山医院
- イ. 歯科往診 …… 随時／片岡歯科
- ウ. 健康診断 …… 年1回(6 月)／新富士病院

### ④ 入所判定委員会

近隣地区の民生委員 2 名を含む入所判定委員会を、6 月、9 月、11 月、2 月に開催し、優先入所基準に基づく採点により、入所順位が上位となった待機者について検討し、適正な施設入所に努めた。

例年、四半期毎に開催していたが、入所辞退や入所待機者の減少により、12 月と 3 月に開催予定だった委員会を 1 ヶ月前倒して開催した。

平成 30 年度の入所者は 7 名であった。

## (7)職員資質の向上

静岡県社会福祉協議会が主催する研修を中心として、年間研修計画に沿って外部研修を受講した。外部研修を受けた職員が講師となり内部研修を行った

他、各委員会から提案されたテーマによる内部研修を順次行った。

(8) 連絡会議等への参加

① 相談員連絡会(年6回)

富士圏域の他の老人福祉施設・老人保健施設等で相談員業務に携わる職員と意見・情報交換に努めた。また、介護保険制度の改正をはじめ、市の今後の方針等について情報収集を行い、業務改善に役立てた。

② 栄養士会(年6回)

富士圏域の介護老人福祉施設の栄養士を対象として開催している栄養士会に参加した。献立や調理方法等について意見交換を行う事により、給食業務の改善に役立てた。

(9) 非常災害対策について

事業継続計画の見直しを行い、役割分担の再検討を行った。合わせて備蓄品の見直しと購入を行った。非常食は入居者数の5日分を確保している。(平成31年度には入居者数の7日分確保予定)

自家発電機も購入し、防災訓練にて使用方法の周知を行った。

年1回の夜間想定非常呼集訓練については、非常事態発生時に駆けつける際の意識改革を図るため、職員に対し実施日を事前に告知せず行った。

2月には、最低限の調理材料と身近な物を使用した炊き出し訓練を実施した。

平成30年度 防災訓練実施内容

日	内 容
4月29日(土)	通報、初期消火、避難誘導訓練、新人職員防災訓練
5月24日(水)	通報、地震想定避難誘導訓練
6月28日(水)	通報訓練、初期消火、避難誘導
7月29日(土)	通報、避難誘導訓練、救急救護訓練
8月23日(水)	夜間想定非常呼集訓練、初期消火訓練
9月4日(月)	東海地震想定総合防災訓練、情報伝達、救急救護訓練
10月25日(水)	通報訓練、初期消火、避難誘導、
11月5日(日)	総合防災訓練、通報、避難誘導訓練、AED使用法
12月16日(土)	夜間想定通報、避難誘導訓練、救急救護訓練
1月31日(水)	通報訓練、初期消火、避難誘導
2月7日(水)	炊き出し訓練、避難誘導訓練、震災訓練
3月21日(水)	通報訓練、初期消火、避難誘導

平成 30 年度 外部研修参加状況

職 種	参加延 人数	主 な 研 修
施 設 長	5	平成 30 年度社会福祉法人経営セミナー(前期)
		平成 30 年度福祉人材定着確保の為の研修会
事 務	9	平成 30 年度集団指導
		平成 30 年度税制改正のポイントと中小企業への影響
		社会福祉法人消費税増税対応講座
		年末調整等説明会
特養・ショート	8	平成 30 年度介護保険サービス提供事業者説明会(集団指導)
		第 16 回富士介護サービス研究集会
		安全運転管理者講習
		介護職の為の薬の基礎知識
		急変を見逃さないための救急講座
		介護技術講座
医 務	1	高次脳機能障害支援従事者基礎研修
栄 養 士	4	平成 30 年度栄養士研修
		平成 30 年度ノロウイルス衛生講習会
		平成 30 年度調理技術研修会
在宅介護支援センター 高齢者支援窓口	35	平成 30 年度集団指導
		平成 30 年度介護支援専門員基礎研修
		平成 30 年度介護支援専門員アセスメント力向上研修
		平成 30 年度地域包括ケア体制構築促進研修会
		平成 30 年度健康づくりデイ・生きがいデイ従事者研修
デ イ	5	平成 30 年度集団指導
		第 16 回富士介護サービス研究集会
		認知症の人の為のレクリエーション
生きがいデイ	2	平成 30 年度健康づくりデイ・生きがいデイ従事者研修
かがみいし	5	平成 30 年度介護保険サービス提供事業者説明会(集団指導)
		平成 30 年度集団指導
		第 16 回富士介護サービス研究集会

平成 30 年度 内部研修開催状況

研修日	事業	研修名	講師	参加人数
6月29日	鑑石園全体	アンガーマネジメント研修	松田 勝之	25
7月11日		新人職員研修	施設長 他	3
9月26日		身体拘束について	松田 勝之	29
10月31日		感染症について	OKU 奥 様	28
1月23日		褥瘡予防研修	ベルメディカルケア モルテン	21
1月30日		感染症について	SARAYA	22
2月27日		身体拘束について	松田 勝之	21
3月14日		安全対策内部研修(事故防止研修)	入月・簗	13
5月2日	特別養護老人ホーム ショートステイ	看取りについて	増田 拓也	9
5月9日				11
4月11日	デイサービス	接遇について	庄司 ゆかり	5
5月2日		食中毒について		5
6月6日		研修報告(レクリエーション研修)	竹内・工藤	5
7月4日		熱中症について	庄司 ゆかり	5
8月8日		虐待について		5
12月5日		疥癬について		5
2月6日		スピーチロック		4
4月18日	在宅介護支援センター	医療との連携について	石井 雄吾	4
5月2日		食中毒について		3
5月16日		介護報酬改定について (デイホスピタル湖山の取り組み)		3
7月18日		聖隷病院のレスパイト入院について		3
8月30日		嚥下・摂食障害について		4
11月14日		高次脳機能障害について		3
2月7日		聖隷病院のレスパイト入院について		3